

施工説明書

リフォーム階段

- 施工開始前に必ずお読みください。
- 施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全で正しい施工を行ってください。
- この商品は、建築基準法などの法令・法規に従って施工してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 施工説明書、取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。(施工完了後、使い方を説明してください。)

1 安全上のご注意

必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、製品を正しく施工していただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

施工を誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

警告



禁止

- 施工時に商品仕様を変えるような加工をされた場合は、品質保証責任を負いかねます。
- ワックスを使用しない。
滑ってけがをするおそれがあります。



必ず守る

- 施工前に既存の構造物が積載過重に耐える構造であることを確認する。(また下地補強を事前に行っておく。) 強度が十分でないと転落事故が起こるおそれがあります。
- 部品(ビス・釘など)は指定の物を使用する。 使用しないと事故の原因となります。またはずれの原因となります。



必ず守る

- 接着剤が硬化するまで(約3時間)、階段の昇降には十分注意する。
注意しないと、仮釘などの突起物につまずき、転落事故が起こるおそれがあります。
- 接着剤を使用する際は、閉め切った場所で行わず、十分な換気をする。
接着剤の容器などにある注意表示に従い、正しく使用してください。
- 仮釘は、接着剤硬化後(約3時間)に必ず抜く。
釘が残っていると、釘が飛び出し、けがをするおそれがあります。
- 施工後は必ず確実に取り付けいたことを確認する。
確認しないと事故の原因となります。

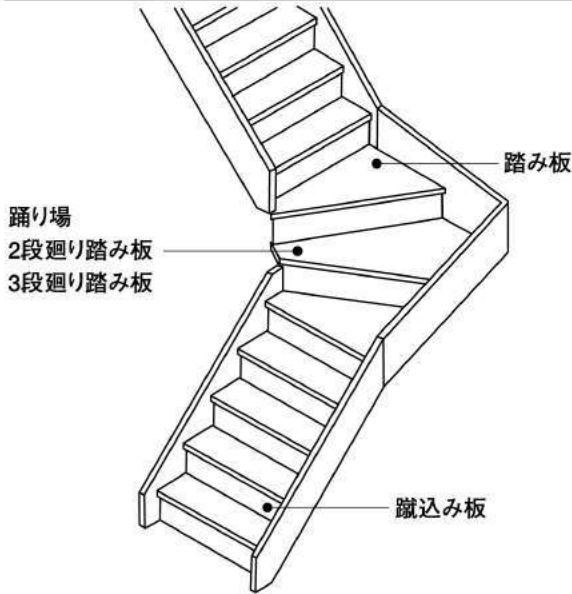
施工前の注意

- 開梱後、商品に損傷がないかを確認してください。 取り付け後の損傷に関しましては責任を負いかねます。
- 商品は湿気や直射日光の当たる場所を避け、 水平な場所に保管してください。
(反り、ねじれの原因となります。)
- ワックスを使用しないでください。
(階段の塗装はワックスをはじきます。)
- シンナー・ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。
(表面のつやが変わったり、変色するおそれがあります。)
- 接着剤が付着した場合は、すぐにふき取ってください。
(接着剤は硬化するととれなくなります。)
- 施工前に必ず既存の階段(踏み鳴りの有無)の状態を確認してください。
(リフォーム後も踏み鳴りが発生するおそれがあります。踏み鳴りが発生する場合は、補修してから施工を行ってください。)
- 接着剤は必ず専用の接着剤(JB-63N)をご使用ください。
(表面のふくれ、接着不良によるはがれなどの原因となります。)
- 商品は既存の踏み板の厚みが34mm以下の対応です。

注意

施工後に踏み板を木製からカーペット(およびその逆)へ変更することはできません。

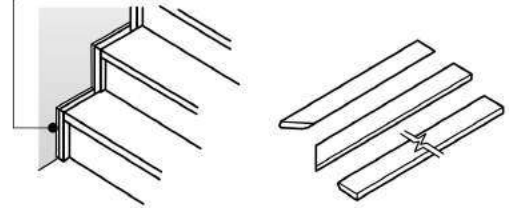
2 各部のなまえ



現場調達品

- ・ 仮釘
- ・ 下地材
- ・ 養生シート
- ・ フロア用養生テープ
- ・ フィニッシュネイル
- ・ 目地用シーリング剤
- ・ クレヨンパテ

幅木・パッキンセット

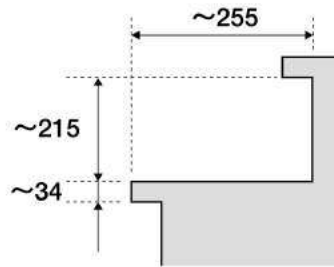


3 施工前の確認

階段有効幅の確認

対応寸法

- ① 蹴上げ寸法 ~215mm
 - ② 踏み板の厚み ~34mm
 - ③ 踏み板奥行 ~255mm
 - ④ 踏み板の巾 ~1200mm
- ※上記以外は別注になります。



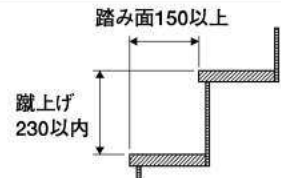
警告



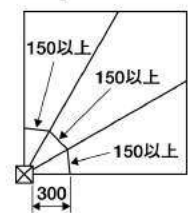
必ず守る

階段事故防止のため、建築基準法に基づき、下図の寸法を必ず確保する。確保しないと転倒事故の原因となります。

踏み面・蹴上げ寸法



※廻り階段を使われる場合は、**90°で3段割り**以内にしてください。



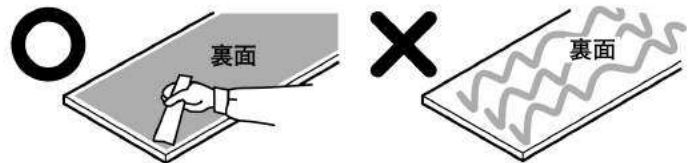
4 施工のしかた

■接着剤の塗布のしかた

接着剤はヘラで全面に塗り広げてください。

注意

- 当て木をした場合は、接着剤の硬化後、当て木をはずしてください。釘穴はクレヨンパテで穴埋めしてください。
- 接着剤がはみ出した場合は、すぐにふき取ってください。

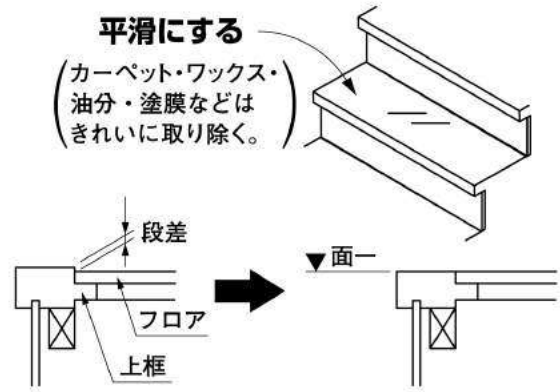


① 既存階段の下地処理

1. 幅木、カーペットなどを取りはずす。
2. 既存階段の表面をサンダー・カンナなどで削り、ワックスや油分や塗膜などを取り除き、不陸を押さえ平滑にする。

注意 表面の汚れなどは必ず取り除いてください。表面に汚れなどが残っていると、接着不良の原因になります。

3. フロアと上框に段差がある場合には、サンダー・カンナなどで削り、段差をなくす。



② 蹴込み板の取り付け

1. 幅カット
壁の内々寸法に合わせて、蹴込み板 **左側** をカットする。

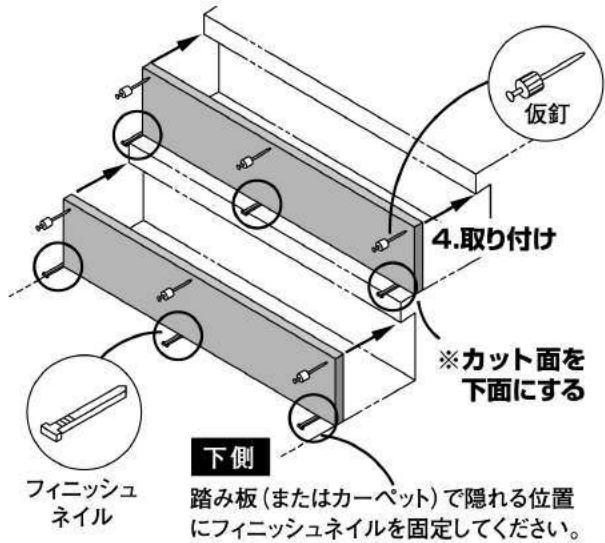
2. 高さカット
既存の蹴込み板に合わせて、蹴込み板 **下側** をカットする。

注意 既存の階段の高さ寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段寸法を測ってカットしてください。

3. 納まりの確認
仮置きで納まりの確認をする。

注意 無理に押し込むと、取れなくなるおそれがありますので十分ご注意ください。

4. 接着
蹴込み板裏面全体に専用エポキシ樹脂接着剤 (JB-63N) を塗布し、仮釘・フィニッシュネイルを併用して取り付ける。



③ 踏み板の取り付け

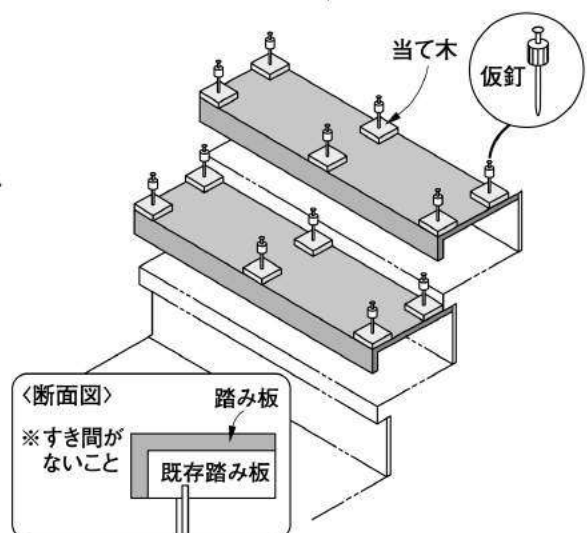
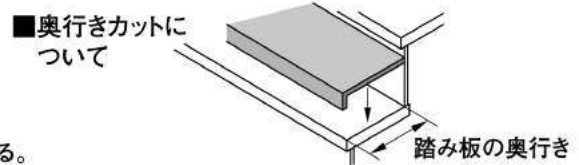
1. 幅カット
壁の内々寸法に合わせて、踏み板 **左側** をカットする。

2. 奥行きカット
墨出した寸法に合わせて、踏み板 **後部にくる側** をカットする。

3. 納まりの確認
仮置きで納まりの確認をする。

4. 接着
踏み板裏面全体に専用エポキシ樹脂接着剤 (JB-63N) を塗布し、当て木・仮釘・フィニッシュネイルを併用して取り付ける。

※フィニッシュネイルは斜め45度に200mm以内のピッチで打ち込んでください。



警告



必ず守る

段鼻垂直面もしっかりと貼り付けてください。段鼻部に隙間があると本品段鼻(前垂部)付け根部分から破損して事故につながります。

(4) 幅木の取り付け

1. 幅木(たて・横用)のカット

幅木の高さ・幅を既存階段の蹴上げ・踏み面に合わせてカットする。
 ※たて勝ちの納まりになるようにカットしてください。

2. パッキン(蹴込み用)のカット

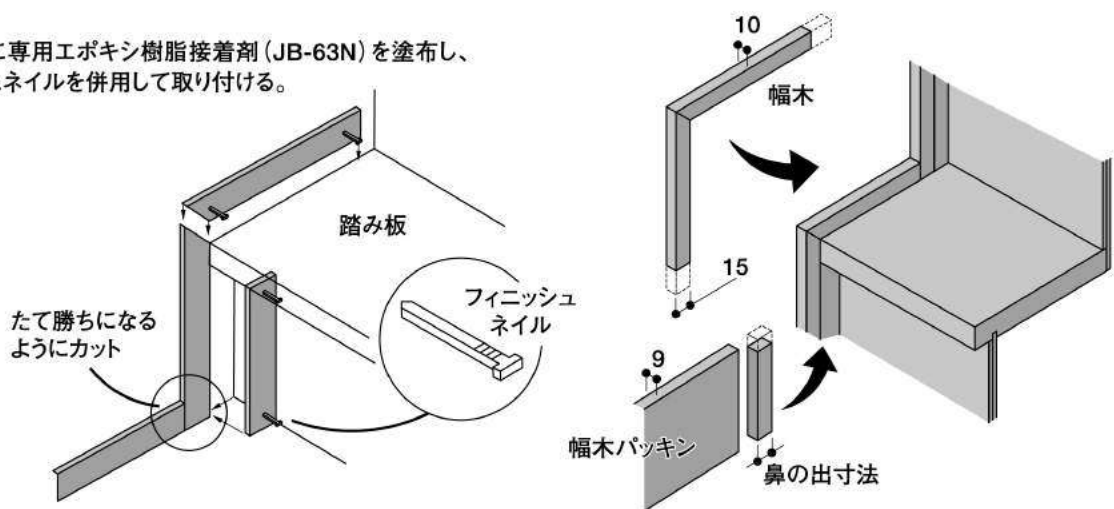
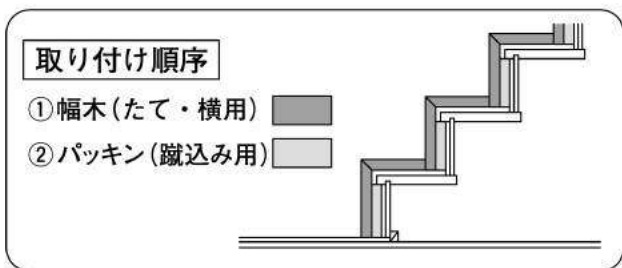
幅木を鼻の出の下部の形状に合わせてカットする。

3. 納まりの確認

仮置きで納まりの確認をする。

4. 接着

幅木裏面に専用エポキシ樹脂接着剤(JB-63N)を塗布し、フィニッシュネイルを併用して取り付ける。



(5) 小口シート

■小口の気になる部分用に小口シートをご用意しています。速乾ボンドで貼り付けてください。
 サイズ (T) 0.5mm, (W) 50mm, (L) 5,000mm

5 施工後のお手入れと確認

注意 養生する際はフロア用養生テープを使用してください。ガムテープなどの粘着力の強いものは使用しないでください。
 ※カーペットには養生テープを直接貼り付けしないでください。塗膜などはがれの原因となります。

⚠ 警告

!

必ず守る

養生シートは動かないように確実にとめる。
 確実にとまっていないと、転落事故の原因となります。また傷が付くおそれがあります。

■施工後のお手入れ

- ・養生をする前に必ず木くずやゴミを取り除いてください。
- ・施工完了後は、接着剤の硬化(約3時間)を待って、当て木を取りはずしてください。仮釘の穴などはクレヨンパテで穴埋めしてください。表面にはみ出しているものは、ふき取ってください。

■施工後の確認 (下記の表に従い、施工の仕上がりをチェックしてください。)

項 目	チェック	項 目	チェック
接着剤が付着していませんか?		リフォーム階段が躯体に確実に固定されていますか?(ガタツキなどありませんか?)	
仮釘はすべて抜きましたか?			

- ※内装工事が続いているときは、梱包材などで商品の養生をおこなってください。
- ※梱包材の残材は、法律に従って適切に処理してください。
- ※引き渡しの際は、養生を取りはずし、乾いた布でふいて仕上がりを再度確認してください。